

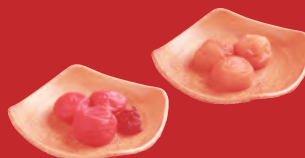


ノウフク見本市 2025 in 大阪

ノウ フク



農福連携商品を仕入れる・売る  
—バイヤーのためのマッチングガイド—



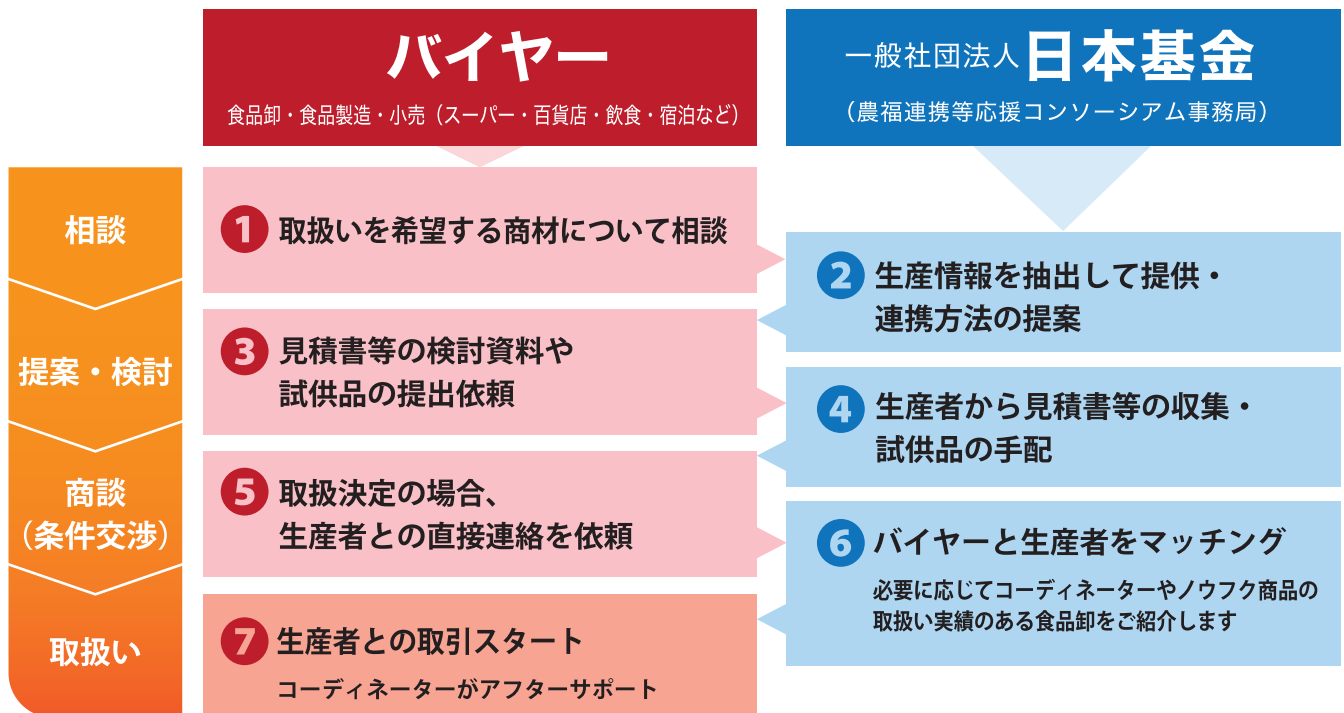
農福連携は、農業と福祉が連携し、障がい者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障がい者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組です。農業を通じて個々の活躍をめざす農福連携は、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」社会の実現につながる取組です。農業と福祉の連携に企業が加わり、**農福連携で生産された「ノウフク商品」を取扱うことや、商品開発を行うことで、SDGsの10のゴールの達成に向けた可能性が広がります。**



## ノウフク商品の取扱いが簡単に！

コンソーシアム事務局では、バイヤーの皆様が希望する商材について相談を受け、マッチング、取扱いまでをワンストップで伴走支援します。生産者との調整やPOPの提供を含め売場を企画提案も対応します。

## 日本基金が無償でサービスを提供



ご要望に応じて生産者との仲介・コーディネーターや卸業者をご紹介します。

ノウフク商品取扱いのご相談は  
[info@nipponkikin.org](mailto:info@nipponkikin.org)

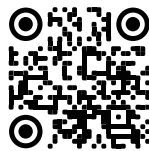
一般社団法人 **日本基金**  
（農福連携等応援コンソーシアム事務局）

## こんなに揃う！ノウフク商品

### 農福連携等応援コンソーシアムが販売企画を試行！ノウフク・ショップ2023

2019年に内閣官房長官を議長とし、関係省庁及び有識者からなる農福連携等推進会議において、「農福連携等推進ビジョン」が決定されました。ビジョンを踏まえ、国、地方公共団体、関係団体等はもとより、経済界や消費者、さらには学識経験者等の様々な関係者を巻き込んだ国民的運動として農福連携等を展開していくため、2020年、各界の関係者が参加する農福連携等応援コンソーシアム(以下「コンソーシアム」)が設立されました。2025年8月末現在、614の会員がその趣旨に賛同し、活動の幅を広げています。

コンソーシアムは、2023年11月に15日間にわたり新宿マルイ本館 地下1階 concept shops(東京都新宿区)で全国から農福連携で生産された生鮮・加工食品140点以上を集めた「ノウフク・ショップ」を開催しました。本イベントでは、スーパーマーケットのような販売コーナーを設け、生鮮・加工それぞれで仲卸業者を仲介し、通常の販売ルートでの展開を試みました。テレビ番組や専門誌で紹介され、4つの生産者の販路が拡大しました。期間中は、生鮮食品の卸を担当した会社の受発注システムに登録している約500件の飲食店にノウフク商品として発信し、約1割の47店舗から発注がありました。



ノウフクWEB



## 【ノウフク・ショップ棚割図】

売場コンセプトに合わせた商品の提案も可能です。

### 加工食品・きのこ・葉物野菜

冷蔵多段3尺

梅干し	だいこん 粕漬	なす 粕漬	摘果メロン 粕漬	味噌
ピリ辛高菜	からし高菜	ゆずごしょう高菜	ゆずマヨ高菜	まぜごはんの素
チーズ (ラクレット/レラ・ハ・ミンタル/笹ゆき)				
焼き芋	ベビーリーフ	生きくらげ	生しいたけ	
低カリウム野菜 (フリルレタス/リーフレタス/小松菜/水菜)			スティックセニョール	ハンサムグリーン
小松菜	ほうれん草	ブロッコリー	ニューレタス	

### 冷凍食品

冷蔵リーチイン4尺

冷凍お好み焼	POP
くりむパン (シャインマスカット/赤ぶどう)	
ブルーベリー	いたりあんじえらーと (抹茶/ほうじ茶)
ジェラート (魅惑のドラゴン&パッションフルーツ/リッチすもも/ほどけるたんかん/黒糖の極み/あまみ月桃/喜界島白ごま/くつろぎカフェラテ/崋碧のチョコミント/種子島安納芋/屋久島緑茶/やんばるソークワサー/西表島ビーチパイ)	

### 野菜

常温(アイランド陳列)

さつまいも	さといも	きくいも	さつまいも (紅はるか、サイパン芋)
ベジチップス	にんにく	(ジャンボにんにく、平戸にんにく)	
ホーリパジル	トマト	だいこん	(紅くるり大根、四季姫)
精米 (あきまさり)			
ミニ白菜	ビーツ	かぶ	にんじん (金美にんじん、アロマレッド)

### 果物

常温(アイランド陳列)

りんごジュース	梨	りんご	(シナノスイート、ぐんま名月、王林、サンふじ)
キウイ	みかん		

### 嗜好品

常温棚多段

ハーブティー (月桃/ハイビスカス/島桑&ドライマレベリー/バタフライピー/ホーリーバジル/ぼんじろう&ドライグアバ)	ハーブティ	乾燥ハーブ	グアバ茶	POP			レトルトカレー (タイカレーグリーン/レッド/マッサマン)	
		乾燥ハーブ	フルーツソース				レトルトカレー (牛肉/チキン/えび/キーマ/野菜豆)	
国産蒸したたまねぎドレッシング (ノーマル/粗切り/ノンオイル/原材料 ALL 国産)	七味唐辛子	京七味	黒らっきょう	黒にんにく	いぶりがっこ	きくらげ佃煮 (山椒/弥平とうがらし)	レトルトカレー (トマトカレー-甘口/辛口)	トマトジュース
			オリーブオイル漬け しいたけ	缶詰 (牛めし/鳥めし/ 神戸牛&国産さくらげ甘辛煮)	乾燥きくらげ	ブルーベリージャム、マーマレード (青摘みみかん、湘南ゴールド)		

## 企業との共創で生まれた商品

コンソーシアムによる生産者とバイヤーとのマッチングによって、新たな商品開発につながった事例を紹介します。

### KONOMU 監修 国産米粉のお好み焼

#### マイエンジン × GR プラント & 杉本商店

大阪市内で3店舗を展開する創作お好み焼き・鉄板焼き専門店「KONOMU」が監修し、株式会社マイエンジンがPB商品として開発した冷凍お好み焼です。ノウフクJAS認証を取得している株式会社GR プラント(香川県東かがわ市)の「香川県産オリーブ青ねぎ」と、株式会社杉本商店(宮崎県高千穂町)のしいたけ粉末を使用しました。宅配事業を行う生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合や株式会社阪急キッチンエール関西、こだわり食品を取扱うスーパーなどへ販売するほか、KONOMU店舗ではメニューに採用されています。



## 地域協議会から生まれた商品

先進的な地域協議会において、事業間の連携による新商品が生まれています。

### 果実なきもち シャインマスカット・赤ぶどう

#### 農福コンソーシアムひろしま

農福コンソーシアムひろしまは、農福商工連携を進めています。商品開発の第一弾として、株式会社八天堂ファーム(広島県三原市)のほか、近隣4戸のぶどう園が農福連携で栽培したぶどうを使用し、羽二重餅で包んだ一口サイズの餅菓子「果実なきもち」を開発し、2025年1月に発売しました。



ノウフクWEB

### ノウフク スナック

#### 大隅半島ノウフクコンソーシアム

大隅半島ノウフクコンソーシアムでは、地域の農福連携を推進し、食品ロスを削減することを目的に、2022年度から、会員であり農業生産を行う株式会社オキス(鹿児島県鹿屋市)が中心となり「小さいプロジェクト」を実施しています。地域の障害者就労施設の利用者が規格外のじゃがいもの収穫や選別・出荷作業に携わっています。本プロジェクトの一環で、2024年11月に規格外のじゃがいもを使用した「ノウフクスナック」が発売されました。定番の「じゃがバター」に、本プロジェクトを応援するため、しいたけとごぼうの生産に障がい者が携わった「しいたけ黒こしょう」と「ごぼうサラダ」が加わった3種類のラインナップです。パトンをモチーフにした包装には、人の手から手へと多くの繋がりで作られているメッセージが込められています。



ノウフクWEB

## マッチングで広がる！ノウフク・ショップが全国で拡大

コンソーシアムでは、販路拡大のため生産者とバイヤーとのマッチングを図っています。2022年度からは展示商談会「ノウフク見本市」を開催。マッチングによってノウフク商品の取扱いにつながった事例を紹介します。

### 事例 ① 羽田空港 Edo 食賓館 (時代館)



2025年1月から5月にかけて、羽田空港 第3ターミナル4階「Edo 食賓館(時代館)」で、25超の生産者から、コンソーシアムのマッチングサービスを通じて、ノウフクJAS 商品を中心にバイヤーが厳選した約60点の加工食品を集めた「HANEDA ノウフク・ショップ」が開催されました。空港において「ノウフク」ブランドを前面に出した販売企画は全国初。国際線ターミナルでノウフクの価値を国内外に発信する機会となりました。



ノウフクWEB



### 事例 ② 無印良品 イオンモール 堺北花田



2025年4月から無印良品 イオンモール堺北花田(大阪府堺市)で、ノウフクJAS 商品を中心としたノウフク商品の販売がスタートしました。コンソーシアムのマッチングサービスを通じて、10の生産者からノウフクJAS 商品を中心にバイヤーが厳選した20点超の加工食品を集めた売場です。

販売を通じ、地域と福祉をつなぐ架け橋を目指しています。社会課題の解決や地域活性化につながる価値ある商材だと思います。サポートを必要とされる方々の働くことを通じた喜びや社会の一員という責任に寄り添っていきたいです。

無印良品 イオンモール 堺北花田  
食品スーパー部門担当  
矢谷 達 さん

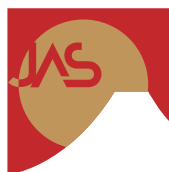


ノウフクWEB

## JAS(日本農林規格)とは

食品・農林水産分野において農林水産大臣が定める国家規格です。  
国内市場に出回る食品・農林水産品の品質や仕様を一定の範囲・水準に揃えるための基準です。

ノウフク



## ノウフク商品の「証」

商品に付いたこのマークが目印です▶

日本農林規格のノウフクJASは、産地や品種、栽培方法を軸とするブランドではなく、ノウフク商品の背景にある社会的価値がブランドの軸となっています。ノウフク商品のうち、障害者が生産行程に携わったことについて第三者の認証を受けたものには、「ノウフクJAS」のマークを表示することができます。ノウフクJASはその基準の中で、荒廃農地の発生防止及び解消、農林水産業の新たな労働力の創出、障害者の賃金・工賃向上の活動に関する計画の立案や推進を職務とする生産行程管理責任者の配置や、障害者が作業しやすい環境の創出(適正や能力に合わせた作業の選定、障害者に対するあらゆる差別の排除等)を求めています。いま、農福連携の理念に共感し、ノウフクJAS商品を取り扱う企業が増えています。

ノウフクJAS認証品目の一覧は、ノウフクWEBでご覧いただけます。▶

ノウフクJAS認証事業者数は、2025年7月現在83事業者に上ります。



ノウフクWEB

ノウフクJASについて詳しくは、農林水産省ウェブサイトでご覧いただけます。▶



農林水産省

## ノウフクJAS 基本情報

正式名称	障害者が生産行程に携わった食品及び観賞用の植物の日本農林規格 (JAS0010) (平成31年3月29日農林水産省告示594号)	
要求事項	ノウフク生鮮食品及び観賞用の植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>主要な生産行程に障害者が携わっていること。</b></li> <li>● 外部からの問い合わせに応じて、当該ノウフク生鮮食品及び観賞用の植物の主要な生産行程のうち障害者が携わった主要な生産行程を回答できること。</li> </ul>
	ノウフク加工食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ノウフク生鮮食品を、少なくとも1種類以上使用すること。</b></li> <li>● 原材料のうち上記に規定するものについては、受け入れから使用まで、他のものが混ざらないよう区分して管理すること。</li> </ul>
対象事業者	生産行程管理者	● ノウフク生鮮食品、ノウフク加工食品及び観賞用の植物の生産を行い、その食品及び観賞用の植物にJASマークを貼付する事業者
	小分け業者	● 自ら生産せず、仕入れたノウフク生鮮食品、ノウフク加工食品又はノウフク観賞用の植物を小分けしてJASマークを再貼付する事業者

## 東京五輪や大阪万博の「持続可能性に配慮した調達基準」にノウフクJAS

ノウフクJASは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の『持続可能性に配慮した農産物の調達基準解説』の推奨基準となりました。また、大阪・関西万博の『持続可能性に配慮した調達コード(第2版)』でも推奨基準となり、「ノウフクJAS」を含む障がい者が主体的に携わって生産された農産物・畜産物を「最大限調達することが推奨される」と、さらに一歩前進した書きぶりとなりました。

## ノウフクJASを活用した販売

### スーパーのノウフクJASコーナー

東京都江戸川区を中心に展開するスーパーヤマイチは、2024年11月から毎月2回、4店舗でノウフクJAS生鮮食品コーナーを設置しています。現在では、一部店舗で常設での展開が始まりました。(季節により変動あり)

ノウフクJAS商品は今までにない価値のある商材です。有機栽培や特別栽培、生産者の顔が見える野菜、産地直送などは他社で広く取り扱っていますが、障がい者が生産に携わった商品は他社との差別化につながると考えています。

<バイヤー> 株式会社ヤマイチ 青果部バイヤー 佐藤義弘さん(写真左)



ノウフクWEB



定期的な納品に不安がある生産者もいるので、生産者も販売者も負担なく実現可能な頻度として月2回、そして在庫が残りにくい生鮮食品で提案しました。まずは(ヤマイチに)一番手として実績を作っていただいて、ともにノウフクの市場を開拓していきたいです。

<青果卸> 株式会社BSS 営業部長 高瀬治之さん

## 自治体でのノウフクJAS商品の取扱い

株式会社アクアヴェール(東京都千代田区)は、2023年6月に株式会社CoCoRoファーム(宮崎県西都市)のノウフクJAS認証米を使用したレトルトおかゆ「緊急救命72hおかゆ」を開発し、ノウフクJASの認証を受けました。このおかゆは袋詰めを地域の福祉事業所に委託することで障がい者が製造に携わっており、また、地域産米を使用できることもあって、地域振興の観点から複数の自治体で取り扱われています。

2024年5月には、長野県松川町へ防災備蓄品として納入されました。松川町産の米を使用し、株式会社ウィズファームが運営する就労継続支援B型事業所ウィズユアが袋詰めを担当しました。また、佐賀県は、同商品の袋詰めを担当した佐賀県の就労継続支援B型事業所を運営する一般社団法人ミラクル5から、障害者優先調達推進法に基づき納入しました。このほか、埼玉県秩父市、所沢市、高知県奈半利町、鹿児島県垂水市、錦江町においてもノウフクJASのおかゆを取扱っています。



ノウフクWEB





## 農福連携等応援コンソーシアムへの参加

コンソーシアムでは、①「ノウフク・アワード」選定による優良事例の表彰・横展開、②農福連携等を普及・啓発するためのイベントの開催、③農福連携等に関する主体の連携・交流の促進などの活動を関係団体及び関係省庁が連携して行っていくこととしております。趣旨にご賛同いただき、参加いただける団体や企業の方の入会を募集しております。

会費等は無料です。この機会に農福連携の輪の拡大に向けて、入会をお待ち申し上げております。

## 入会方法

コンソーシアムに関する詳細は、[ノウフクWEB](#)をご覧ください。

コンソーシアムへの入会をご希望される団体や企業の方は農福連携等応援コンソーシアム規約に同意いただき、申込書に必要事項を記入の上、農林水産省農村振興局都市農村交流課 農福連携等応援コンソーシアム事務局までお申し込みください。

幹事会の承認を得て、コンソーシアムにご入会いただくことができます。

●農福連携等応援コンソーシアムについて

<https://noufuku.jp/consortium/>



農福連携等応援コンソーシアムの規約、入会のご案内・申込書は上記ページからダウンロードいただけます。

## お問い合わせ

農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 農福連携推進室

電話 03-3502-8111 (内線5448) メール [noufuku@maff.go.jp](mailto:noufuku@maff.go.jp)

一般社団法人 **日本基金**

電話 03-5295-0070 FAX 03-6206-0117

メール [info@nipponkikin.org](mailto:info@nipponkikin.org)

※ノウフク商品の取扱いに関するお問い合わせは、日本基金までご連絡ください。

